

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「誰もが人間らしく当たり前の生活ができるための支援を行う」「家族・地域の住民とのつながりを大切にし、その協働により継続できるNPOの存在を広める」「介護予防に取り組み、住民ができる限り自立性を持って地域で生活をしていくための支援を行なう」という理念があり、それを基にサービスを行なっている。		
2 ○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	サービス担当者会議、ミーティング、日々の関わり、個人面談、内部研修などを通して、管理者と職員は理念を共有し、その実践に向けて取り組んでいる。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	家族への説明と同意のほか、理解が進むように努め、入居者の地域での交流と参加で更に理解が進むように努めている。		
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日常的に散歩や買い物などに出掛け、近隣の人たちと挨拶を交わしたり話をしたりしている。また、近所に住む友人も時々遊びに来てくれる。		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域での行事には積極的に参加している。また、地域の琴の会、踊りの会、レクダンスの会の方々が慰問に訪れてくれたり、ホームの行事等にも、地域の方々に参加していただいている。		
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	パワーリハビリテーション事業、介護予防教室などにより、入居者、地域の高齢者等の介護予防に努めている。理事や管理者が地域における勉強会の講師として参画している。介護ヘルパー実習を受け入れている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価の意義や目的を全職員に伝え、全員で自己評価に取り組むようにしている。外部評価の結果はミーティングで報告し、改善に向けての検討や日々のケアにつなげるための努力をしている。		
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議には入居者の家族、行政区長、地域包括支援センター所長、町立診療所所長、女性団体連絡協議会会長等さまざまな分野の方々に参加していただき、入居者の状況、取り組んだ事業、地域連携・地域交流、の状況、スタッフの研修状況などの報告や話し合いを行っている。また、そこでの意見をスタッフにも報告し、サービスの向上につなげている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	町の担当者からは積極的に助言をいただきサービスの質の向上に取り組んでいる。また、保健師が入居者の認定調査に来訪したり、多くの市町村からの見学、視察事業を受け入れている。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	制度については理解している。今のところ活用する機会はないが、必要性が生じた場合には活用できるよう支援していきたい。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	研修会への参加、ミーティングでの報告、チェック表の活用などを通して虐待の防止を徹底している。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前にホームの見学をしていただき、理解・納得した上で契約を交わしている。契約の際には重要事項証明書を十分に説明し理解・納得を図っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関にはご意見箱を設置し、常に入居者、家族からの意見を聴けるようにしている。また、意見や苦情、思いを伝えてもらえるような雰囲気作りを職員全員で心掛けている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>家族等の来訪時には声掛けし、入居者の暮らしぶりを写真を交えて伝えている。また、特変時には速やかに連絡を行なっている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見箱の設置や家族会を開催している。また、日頃から意見を言いやすいような雰囲気作りを心掛けており、出された意見はミーティング等で話し合い反映させている。外部苦情申し立て機関についても説明し、玄関に掲示している。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングや個人面談等の中で意見や提案を聞く機会を設け反映させている。また、日頃からコミュニケーションを図るように心掛けている。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>受診の対応、入居者の特変時、行事等の必要時には職員を多く配置し、勤務の調整に努めている。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>異動は必要最小限にとどめている。また、できるかぎり離職の回避に心掛け、新しく入った職員には入居者一人ひとりの特徴、関わる際の注意点を伝え、早くなじみの関係を作ってもらえるように努力するなど、入居者には十分配慮している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修には積極的に参加し、内部研修も経験年数、実力など段階に応じて行なっている。また、研修参加後には研修報告書を提出してもらい、ミーティングで報告してもらうなどして情報を共有している。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	グループホーム協議会には積極的に参加し、同じ地域・圏域の同業者と一緒に勉強会を企画・開催するなどの交流を図り、サービスの向上に取り組んでいる。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	個人面談で悩みを聞き、職員親睦会によりストレスを解消できるよう努力している。また、定期的に外部からカウンセラーを招き、希望する職員には個別でメンタルヘルスのカウンセリングを受けてもらっている。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	外部研修の紹介、内部研修の企画・開催により、管理者・職員が参加できるように努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に本人の元を尋ね、顔なじみの関係を作っておくとともに心身の状態や思いを聴き、同時に、生活状態を把握するよう努めている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に家族と面談し、今何に困っているのか、ニーズが何なのか等、話を十分に聴く時間を作るようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時、本人や家族の思い、状況等を見極めた上で、すぐに入居を勧めるのではなく他のサービス利用も含めた相談にのっている。また、入居される場合には、今まで受けてきたサービスについて、本人、家族に同意を得た上で担当ケアマネ等から聞き取りを行ない必要なサービスにつなげている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に本人の元を訪ねたりホームを見学していただいて、顔なじみの関係を作ることにより本人が馴染めるように、家族等と相談・協力してもらいながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	日常の家事や趣味活動等を通して、スタッフも教えていただくことが多々ある。また、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共有したり、相互に支えあう関係を築いている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	普段から入居者の状況を報告する事によって情報を共有している。また、家族からの相談にも耳を傾ける事によって喜怒哀楽を共にし、ケアプラン作成時には逆にこちらから相談し意見を伺うなど、一緒に入居者を支えていく関係を築いている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	地域やホームの行事等への参加を通じて、本人と家族が疎遠にならず、より良い関係を築いていけるように支援している。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	行きつけの場所があれば利用し、できるだけ以前の生活と同じ状況を維持できるよう努めている。家族、友達等の訪問も積極的に受け入れている。来訪しやすい環境を作るよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個別に話を聴いたり、みんなで楽しく過ごす時間作りをするなど、入居者同士の関係がうまくいくように職員が調整役となって支援している。心身の状態や気分が日々変化することもあるので、注意深く見守るようにしている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入居者や家族からの要望があれば、継続的な関わりを持っている。サービス利用終了後もご自分で作られている野菜などを持ってきて下さる家族もいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者本人の訴えや家族の話を聴きながら一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。また、ミーティング等で常に本人の視点に立って意見を出し合い、より良く暮らしていただけるように努力している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人・家族の協力を得ながら、アセスメント・センター方式を作成・活用し、生活歴、馴染みの暮らし方を把握できるよう努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	センター方式を活用し、全職員が、本人の現状を総合的に把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人がより良く暮らせるよう、本人、家族からの意見・要望を聴くとともに、アセスメントを含め職員全員でミーティング等を通じて意見交換を行ない、それを基に介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的に介護計画の見直しを行なうとともに、現状では対応できない変化が生じた場合は、一時的な職員の増員等も含めた新しい計画を作成し、即時実行している。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活記録や申し送り表を記入、確認する事によって情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	町からの委託により宅老的デイサービス、宅老的ショートステイを行なっており地域住民の方々が困った時の受け皿となっている。また、福祉有償運送事業を行なっており、入居者、地域住民の方々の町内外への買物、受診等をお手伝いさせていただいている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ボランティアの方々には自主的に、頻繁に来ていただいている。また、文化祭、図書館祭りなど町の行事にも積極的に参加させていただいている。警察や消防の方々にも、避難訓練の際などにご協力いただいている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	町の福祉課や地域包括支援センターと連携が取れており、本人の意向や必要性に応じて、他のケアマネやサービス事業者と相談し支援できる体制にある。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議にも参加していただき、協力していただける体制にある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	本人及び家族が希望される医療機関を受診している。受診時には職員も付き添い、本人の状態を医師に細かく伝える事により、適切な医療を受けられるように努めている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力医療機関は気軽に相談でき、認知症に関する診断や治療を受ける事ができている。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	理事、職員に看護師がいるので気軽に相談できている。また、協力医療機関の看護師も24時間体制で相談にのってくれている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者の入院時には、医療機関と綿密に連絡を取り合い、早期退院に向けて努力している。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	職員は、重度化・終末期ケアの対応についての勉強会を通して方針を共有している。看取りの指針があり受け入れる体制がある。実際に「終末期支援に関する覚書」を取り交わしている入居者・家族もいる。	○	まだ入居者全員と覚書を交わせていない。急変される場合もあるので、本人、家族が不安がらないように配慮しつつ、もっと早期に覚書を取り交わしていきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	「終末期に関する覚書」を取り交わす際に、「グループホームで出来る事・出来ない事」「病院での利点」「グループホームでの利点」等について家族にお話している。また、協力医療機関と連携を取り、終末期の支援に取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>十分な話し合いや情報交換を行ない、住み替えによるダメージを防ぐように努めている。</p>	○	<p>3月にホームの移転を控えているため、何度か新居を訪れ、入居者に見覚えのある場所だという認識を持ってもらおうと思っている。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人の尊厳を大切にし、プライバシーも損ねないよう普段の業務やサービス担当者会議・ミーティングでも伝えている。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>思いや希望を表せる入居者には、こちらからも働きかけ、買物、外出等、できるかぎり自分の希望通り暮らせるよう支援している。医師や希望を思うように伝えづらい入居者については、家族とも相談しながら、本人の思いに近づけるよう努力している。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一日の流れはあるが、本人のペース、気持ちを大切に、できるだけ個別性のある支援を行ない、希望に沿った毎日を送れるように心掛けている。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>行きつけの床屋・美容室がある方は、行けるように支援している。身だしなみやおしゃれにもできるだけ気を遣い、本人の希望に沿えるように努めている。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>個人の好みを把握して食事に取り入れ、食事の準備、片付けなども一緒に行ない、楽しめるように工夫している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	一人ひとりの好みや意向を大切にするように心掛けている。月に1、2回は、入居者が好むお菓子をドライブがてら町外のお菓子屋さんまで買いに行っている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	普段から入居者の排泄パターンを、チェック表を使って把握しており、なるべくおむつを使わなくていいよう支援している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴は個人の意思を尊重し、一人ひとりの希望やタイミングに合わせている。みかんの皮を干して浴槽に入れたり、何種類かの入浴剤を用意して、入浴を楽しんでもらえるよう努めている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	就寝前にホットドリンクを提供したり、居室の温度・湿度の調整、その他入居者の希望に応じて毛布を足したり、湯たんぽ、電気シーツ等を使い安眠できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの生活歴を把握し、日常の家事や趣味等で力を発揮してもらえる場面を作るようにしている。また、外出、レク、体操等で気晴らしもしていただいている。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの希望を受け止め、力量に応じて金銭管理を支援している。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買物、散歩、ドライブ、行事等、日常的に外出の機会を設けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	花見、白鳥見学、動物園見物などを企画し、個別あるいはみんなで、家族も交えながら出掛ける機会を作っている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでも使えるようになっており必要に応じてサポートし取次ぎを行なっている。また、プライバシーに配慮し、子機を使って居室で気軽に話せるようにしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族、知人、友人等がいつでも気軽に訪問できる環境を整えており、居心地よく過ごせるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修会に参加したり、内部研修を実施し、全職員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	居室に鍵はなく、玄関は夜間のみ鍵を掛けている。暖かな日には玄関を開放して閉塞感をなくすようにしている。		
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	本人のプライバシーを尊重しつつ、一人ひとりの所在や様子を把握し、安全に配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	個々の道具、物品の保管・管理は、その人の力量に応じて個別に配慮している。注意の必要な物品を全て取り除くわけではなく、スタッフが気を配り、異食等を防ぐ取り組みもしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事後報告書・ヒヤリハットがあるたびに対策を話し合い、再発防止に取り組んでいる。また、年に1度保険会社の方にリスクマネジメント講習を開いていただき、全職員で勉強している。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防で行なわれる救急救命講習に、全職員が交互に2年に1度参加している。また、当法人看護師による応急手当講習を定期的に行ない、職員のスキルアップを図っている。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署の協力を得ながら、避難訓練、消火器取扱訓練等を定期的に行なっている。また、運営推進会議等で、地域の方々に協力を得られるよう働きかけている。	○	まだ実際に避難訓練等に地域の方々に参加していただいた事がないので、町内の役員会や町内会の総会に出席して協力をお願いしたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	行動抑制はせず、できるだけ自由に暮らしていただけるよう支援しているので、それに伴うリスクについても家族等に繰り返し説明し、理解していただいている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日2回のバイタルチェック等で正常時の身体状況を把握している。異変発見時には速やかに看護師、管理者に状況説明、指示をもらい、必要に応じて医療機関にも指示を仰いでいる。また、口頭、生活記録、申し送り表、受診記録簿等により、全職員が情報を共有できる状態になっている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の効用書きを受診記録簿に貼り付け職員に見てもらっている。	○	(昨年度からの課題) 依然として薬の目的や副作用についての知識が不足しているので、職員に繰り返し薬の重要性、誤薬や副作用の危険性について説明し、危機感を持ってもらう。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	繊維質の多い食材や乳製品を取り入れるようにしている。日中は、体操、散歩、パワーリハビリテーション等の運動、身体を動かす機会を適度に設け、自然排便ができるように取り組んでいる。	○	まだ薬に頼っている部分が多いので、サービス担当者会議、ミーティング等で意見を出し合い、自然排便できる回数をさらに増やしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	入居者一人ひとりの力量に応じて職員が、見守ったり介助を行っている。また、定期的に歯科受診している。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの嗜好を把握して食事に取り入れ、栄養バランスにも配慮しつつ十分な食量、水分量が確保できるよう支援している。また、献食表、水分チェック表で個人の食事、水分の摂取状況を毎日チェックし、情報を共有している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルに沿って消毒等の処置を行っており、予防や対応についての取り決めがある。入居者、職員、共にインフルエンザの予防接種を受けている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板、ふきん等は毎日漂白し、清潔を心掛けている。食材も毎日買いに行き、鮮度の良い物を扱っている。また、賞味期限が記入されていない野菜等にはわかるように購入日を記入し管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関やスロープにプランターを置き花を植えたり、親しみやすい表札をかけている。既存の建物なので一般住宅の玄関と同様である。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自分らしく暮らせるように馴染みの物を取り入れ、家庭的な環境を作るよう心掛けている。音や光にも常に配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	入居者同士の関係の変化に応じた居場所の確保を行なっている。入居者は一人や数人で思い思いに過ごしている。建物が狭いため共有空間では一人になりにくいのが、居室で過ごしていても居間の気配は感じられる。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	寝具やタンス、家族の写真等、本人にとって大切な物、または使っていた物が持ち込まれており居心地よく過ごせるよう工夫している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気は適宜行なっている。また、温度・湿度には常に気を配っており、入居者の希望、体調等に合わせて調整を行なっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下・トイレ・階段・浴室には手すりを設置し、自立した生活が送れるように工夫している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	トイレには場所の表示をしており、各居室にもネームプレートを付けるなど、混乱や失敗をしないように工夫している。混乱や失敗が見受けられるような状況の時には、その都度対策を協議し改善に努めている。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	プランターの花に水をあげたり、畑で野菜を作ったり、洗濯物干しや庭の草取りなどを行っている。スロープに椅子を置いて日光浴を楽しむ事もある。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ②利用者の2/3くらい
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ②利用者の2/3くらい
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ①ほぼ全ての利用者
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ②家族の2/3くらい
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ②数日に1回程度

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>②少しずつ増えている</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>②職員の2/3くらいが</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>②利用者の2/3くらいが</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>②家族等の2/3くらいが</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)